

## 目標達成計画

作成日：平成 23年 9月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回の防火訓練実施だけでは、身につかず職員も不安がある。	防火に対する意識と、災害発生時における対応を身につける。	①人災につながりやすい事を理解し、予防に繋げていく。 ②災害発生時の対応マニュアルを個々に配布し、各職員が再確認する。 ③災害時の対応(通報、避難誘導など)手順を月1回ミーティングでシミュレーションする。	12ヶ月
2	52	共有スペースやホーム周辺の環境整備が必要。	常に整理整頓と、清潔にする。また、季節感を感じられる環境づくりに取り組む。	①食後など、床などが汚れやすいので、確認し汚染時は早めに片付ける。 ②季節ごとの装飾で、視覚から季節の移り変わりを感ずることができるようにする。 ③草花の手入れをすることで、利用者様も役割を持つ場面を作る。	12ヶ月
3	36	一人ひとりのプライバシーや、利用者様への接し方(接遇)について、常に振り返りが必要。	プライバシー、接遇に配慮したケアを確実に提供することができる。	①相手の立場を理解し、意識する気持ちを継続できるように学習会を通して振り返る。 ②毎月のミーティングで、改善事項がなくても接遇、プライバシーについて伝達することで、意識してケアに活かせるようにする。	12ヶ月
4	2	事業所で実施している取り組みを地域に広める活動が少ない。	事業所の特色を活かしたケアや、活動を地域へ提供する機会を持つ。	①回覧等を利用し、事業所の取り組みや活動状況を伝える。(年4回ホーム便りなど) ②ホームの行事を通して、地域の方が気軽に参加できるような活動を計画する。 ③現在実施している学校の体験学習を今後も継続する。	12ヶ月
5	5	事業所内の活動や取り組みを積極的に伝えることが少ない。	運営推進会議以外にも、積極的にかかわりを持ち、協力関係を深めるようにする。	①集団指導時に、これまでもリスクマネジメントや認知症ケア等の基調講演があり、ケアへのヒントになっている。取り入れてもらいたい内容等の要望を伝えていく。 ②季節に関連した感染症等の情報提供があり、ホーム内の状況など伝えながら連携を深める。(他事業所の取り組み内容など情報を得る。)	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。